

令和3年度行政事業レビューシート ( 内閣府 )

<b>事業名</b>		(建設海岸) 海岸事業調査費		<b>担当部局庁</b>	沖縄振興局			<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始年度</b>	昭和47年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	参事官(振興第一担当)			井浦 義典		
<b>会計区分</b>	一般会計									
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>	沖縄振興特別措置法、海岸法等			<b>関係する計画、通知等</b>	沖縄振興基本方針、沖縄振興計画 等					
<b>主要政策・施策</b>	沖縄振興			<b>主要経費</b>	公共事業					
<b>事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	沖縄振興計画に基づき、高潮や津波、波浪等による自然災害や海岸侵食から県民の生命、財産を守るため、景観や生態系など自然環境に配慮した海岸保全に努めることを目的とする。									
<b>事業概要(5行程度以内。別添可)</b>	○直轄事業 国が実施する海岸事業に関する調査 国費率 事業調査:国10/10 ※内閣府で一括計上し、国土交通省で執行									
<b>実施方法</b>	委託・請負									
<b>予算額・執行額(単位:百万円)</b>	<b>予算の状況</b>	当初予算	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求			
		補正予算	3.1	3.4	3.4	3.4	3.4			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	▲3.4	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
		計	3.1	3.4	0	6.8	3.4			
	執行額	3.1	3.3	0						
	執行率(%)	100%	97%	-						
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	100%	97%	-						
	<b>令和3・4年度予算内訳(単位:百万円)</b>	歳出予算目	令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由					
海岸事業調査費		3.4	3.4							
計		3.4	3.4							
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>	定量的な成果目標	成果指標	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 -年度	目標最終年度 3年度		
	令和3年度までの目標値は、防護面積を92.7haまで引き上げる。	整備済み防護面積(ha)	成果実績	ha	86.7	87	88	-	-	
			目標値	ha	-	-	-	-	92.7	
			達成度	%	93.5	93.8	94.9	-	-	
<b>根拠として用いた統計・データ名(出典)</b>	沖縄21世紀ビジョン実施計画(後期:平成29~令和3年度)									
<b>活動指標及び活動実績(アウトプット)</b>	活動指標	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込	4年度活動見込			
	海岸事業調査件数	活動実績	件	1	1	0	-	-		
当初見込み		件	1	1	1	2	-			
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込				
	執行額(X)÷調査件数(Y)	単位当たりコスト(百万円/調査)		3.1	3.3	-	3.4			
計算式		X/Y		3.1/1	3.3/1	-	6.8/2			
<b>政策評価、新経済・財政再生計画との関係</b>	<b>政策</b>	9. 沖縄政策								
	<b>施策</b>	9. 沖縄振興に関する施策の推進								

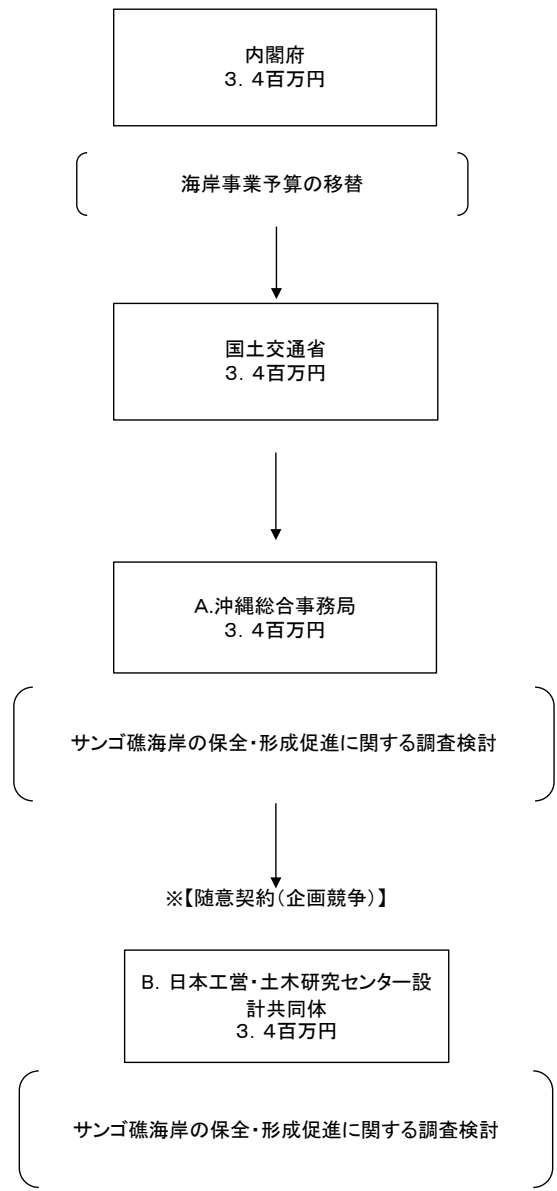
事業所管部局による点検・改善			
	項目	評価	評価に関する説明
国 必 要 投 入 の 性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	関係法令に基づき、海岸の保全を目的に国が実施している重要な事業である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	同上
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	同上
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	入札手続きの透明性・競争性の確保に努めており、支出先は、適切な入札方式、手続きを経て決定している。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	コロナの影響によりやむを得ず翌年度に繰越しているが、事業目的に沿って予算を執行しており、その執行状況等を適切に把握、確認している。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	同上
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	同上
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	コロナの影響による調査遅延による繰り越し。	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	予算の効果的・効率的な執行に努めている。また資金の流れの検証ができるよう、契約額・支出先及び契約方式等を把握している。	
事 業 の 有 効 性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果目標に見合った成果実績をあげている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	事業目的に沿って、適切な手段・方法で実施している。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	見込みと同様な実績であり、見合ったものである。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	成果物は海岸の整備の促進に十分に活用されている。
事 業 連 携	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-
点 検 ・ 改 善 結 果	点検結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算の効果的・効率的な執行に努めており、全額翌年度に繰り越しているが、その理由は妥当である。また、資金の流れの検証ができるよう、契約額・支出先及び契約方式等を把握している。</li> <li>・調査結果については、引き続き海岸事業の実施に活用していくことが必要。</li> </ul>	
	改善の方向性	引き続き、予算の効果的・効率的な執行等に努める。	
<b>外部有識者の所見</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度の間目標の達成は困難ではないか。</li> <li>・令和2年度は未執行となっているが、必要性、効率性、有効性の観点についての評価欄にはいずれもよい評価がなされており、令和2年度の特事情についての説明は当該評価欄には記載されていない。このような評価欄の記載の仕方に問題はないか。(可能な限りわかりやすく説明した方がよいのではないかと思われる。)</li> </ul>			
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>			
現 状 通	外部有識者の所見を踏まえ、事業実施省庁と権限を明確化したうえで、実施省庁と連携して、事業の進捗を的確に把握し、より一層事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証するべき。		
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>			
現 状 通 り	点検・改善の評価欄については、ご所見を踏まえ改善した。 沖縄振興予算の仕組み(内閣府の役割、事業実施省庁との連携)について、備考欄に記載した。 外部有識者及び行政事業レビュー推進チームのご所見を踏まえ、中間目標の達成に向け、引き続き事業の進捗状況の把握に努めたい。		
<b>備考</b>			
内閣府においては、沖縄振興を目的とする事業のうち、公共事業を中心とする関連事業の全体的な把握、事業相互間の進捗調整、計画に沿った事業の促進を図るため、これらの事業の経費を内閣府に一括計上し、これを各省庁に移し替えて執行することにより、計画実施について効果的な総合調整を図る。 コロナの影響による調査遅延により、翌年度へ全額繰り越し。			

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	0101-③		
平成23年度	0103		
平成24年度	0103		
平成25年度	0061		
平成26年度	0058		
平成27年度	0064		
平成28年度	0057		
平成29年度	0060		
平成30年度	0063		
令和元年度	内閣府 - 0069		
令和2年度	内閣府 - 0068		

※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を  
 しているかについて  
 補足する)  
 (単位: 百万円)



※会計法29条の3第4項に基づき、随意契約(企画競争)に付するものである。